

調査事業（平成4年～平成24年）

農業を取り巻く環境の変化が、農業・農村に及ぼす影響を調査し、今後の農業振興の方策を明らかにするため、基金として平成4～24年度まで調査提言事業を行っていました。それらのテーマは次のとおりです。

H24	あいち農畜産物ブランド化戦略の再構築
H23	地球温暖化に伴う農業・畜産高温対策技術マニュアル
H22	2015あいち施設園芸の展開方向
H20	野菜の産地戦略—産地マネジメントのあり方—キュウリ
H20	野菜の産地戦略—産地マネジメントのあり方—フキ
H19	野菜の産地戦略—野菜の高付加価値化—
H18	県内きく産地の活性化方策について
H17	県内いちご産地の戦略的活性化方策について
H16	みかん産地の活性化に向けて
H15	供給優位を目指す野菜生産体制の構築について（第2年度）
H14	供給優位を目指す野菜生産体制の構築について（第1年度）
H13	消費者ニーズに対応する都市近郊農業の生産振興策について
H12	イチジクの産地強化方策について
H11	東三河地域におけるカキ産地の振興策について
H10	中山間地域における高齢者の農業・生きがいと福祉のあり方について
H10	温室メロンの振興対策について
H9	トマト産地の強化策について
H9	園芸優良種苗供給の現状と今後の方策について
H8	山間地域における特産物の生産・直売活動の現状と今後の方策について
H8	スーパーマーケットの青果物産地選択要素について
H7	冬春いちごの振興方策について
H7	21世紀の水田策経営に向けて
H7	新たな米管理システムに対応した生産・販売のあり方について
H5	露地野菜産地強化対策調査
H5	リゾート開発の実態
H4	県下農家の将来意向調査
H4	東三河地域の農業労働力調査

各調査報告書の内容に関しては、愛知県農業振興基金へ問い合わせ願います。